

競技規則

グラウンド	グラウンドサイズは横30m ×縦40m（ゴールラインからゴールライン）、インゴール（ゴールラインからデッドボールライン）は各5mずつとする。 なお、競技場により、上記グラウンドサイズは主催者の判断で、増減することがある。
用具	(1)大会期間中に使用するタグセット、タグボール、ビブスは主催者で用意したものを使用する。 (2)ボールは4号球を使用し、空気圧は0.5 ～ 0.6kg/平方センチメートル。 (3)タグは日本協会規定サイズ（50 mm× 375 mm）。
チーム	(1)競技グラウンド内にいる5名のプレーヤーと入替可能な2名以上のプレーヤーから成り、原則として、エントリー時の登録のまま大会に出場すること。 ・コーチは各試合において、登録選手を必ず全員出場させること。 ・負傷、疾病が続き、出場可能なプレーヤーが5名以下になった場合、公式試合は行えない。 (2)試合開始時、試合に必要なプレーヤー及び帯同コーチが揃わない場合、相手チームの不戦勝とする。 (3)帯同コーチは成人2名とする（そのうち1名は、他のチーム同士の試合のアシスタントレフリーが務められること）。 ★コーチは試合中に次のことができる。 1.負傷者の救助等でレフリーの指示があった場合に競技グラウンド内に入ること。 2.グラウンドサイドの主催者が指定する位置で、チームプレーヤーへの教育的かつ建設的助言を行うこと。 3.グラウンドサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの入れ替えに関する管理を行うこと。 4.ハーフタイムに競技グラウンド内に入り、プレーヤーに給水を行うこと。 5.グラウンドサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの健康、安全管理を行うこと。 (4)帯同コーチは大会期間中の選手、自チーム応援者の言動について一切の責任を負う。これができない場合、警告以上の処分が与えられる。 (5)レフリー、アシスタントレフリー、第3アシスタントレフリー、競技役員はチーム、帯同コーチ、観客の言動が悪質な妨害行為にあたる判断した場合、警告以上の処分を科すことができる。
プレーヤーの服装	(1)プレーヤーの服装については以下の通りとする。 ・チームで統一（スパッツなども含む）された、運動に適した服装（学校体操着など）運動靴またはトレーニングシューズ。 (2)プレーヤーは以下のものを着用することができる。 ・髪留め（ゴム製） ・めがね（試合中に脱落しないよう、固定すること。万が一の接触に備えて、強化プラスチック製のものを着用することが望ましい） (3)以下の物については着用を認めない。 ・手袋（タグの色と紛らわしいため。また、着用の有無による利益不利益をなくするため） ・ギブス等医療器具（着用しないとプレーできない場合は出場させるべきではないから） ・その他、タグラグビーをプレーする上で必要ない物
選手の入替え	(1)入替は以下の時に何度でも可。 1.ポイント（トライ）後 2.ハーフタイム開始時 3.負傷でゲームが中断した時 (2)入替は帯同コーチが第3アシスタントレフリーに申し出、レフリーが承認して成立する。入れ替えが行われている間、試合は再開しない（時間は継続）。入れ替えを行うチームは速やかに実施できるよう準備する。 (3)負傷により退場したプレーヤーがその試合に戻ることはできるが、出血している状態に戻ることはできない。

競技要項

試合時間	<p>(1)試合時間は下記の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンピオンシッププール戦 7分1本 ・フレンドリーシッププール戦 5分1本 ・決勝トーナメント（下位） 前半5分 - ハーフタイム1分 - 後半5分 ・決勝トーナメント（上位） 前半7分 - ハーフタイム1分 - 後半7分 <p>(2)プレーヤーはハーフタイムには、サイドチェンジを行なった後にチームから飲水を行なえる。ただし、自チームベンチに戻ることはできない。プレーヤーは後半開始時には競技再開ができる位置にいないといけない。レフリーは、チームの行為が遅延行為にあたりと判断した場合、相手側のフリーパスによる再開を行う。</p>
レフリー	<p>(1)レフリー1名 アシスタントレフリー2名（予選プールにおいてはタッチジャッジ2名）、第三アシスタントレフリー1名とする。</p> <p>(2)レフリー及び第三アシスタントレフリーは主催者が指名する。アシスタントレフリー2名については、全参加チームの帯同コーチの中から主催者が指名する。 ※レフリー及びアシスタントレフリー、第3アシスタントレフリーは主催者が指名する。ただし、予選プールではアシスタントレフリー2名に代わり、全参加チームの帯同コーチの中からタッチジャッジ2名を指名する。</p> <p>(3)レフリーはグラウンド内で判定を行う。また、レフリーの服装はプレーヤーに準ずる。</p> <p>(4)アシスタントレフリーはタッチライン沿いで以下を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.レフリーの判定の補佐。 2.選手の入替の補佐。 3.負傷者のための試合停止の要請。 4.帯同コーチ・観客の悪質な妨害行為のレフリーへの報告。 <p>(5)第3アシスタントレフリーはグラウンドサイド、ハーフウェイラインに位置し、以下を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.選手の入替の管理（全員出場の確認を含む） 2.得点の確認 3.チーム、帯同コーチ、観客の悪質な妨害行為に対する警告並びにレフリーへ妨害行為を行ったチーム、帯同コーチ、観客を報告する。 <p>(6)レフリーはその試合における唯一の事実の判定者であり、レフリーに対して抗議することは認められない。</p> <p>(7)レフリーは以下の場合に試合を停止することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.プレーヤーが負傷し起きあがれない場合。マッチドクターからの要請による場合も同様とする。 2.プレーヤー、帯同コーチ、観客に注意を与える場合。 <p>レフリーが、以上の理由で試合を停止した場合、再開は停止を命じた時点でボールを保持していた側のフリーパスとする（タグの回数は継続）。競技時間を停止する場合、レフリーは明確な方法で試合時間の管理者に伝達する。</p>
試合時間の管理と試合の記録	<p>(1)試合時間の管理及び試合の記録を行う者は主催者が任命する。</p> <p>(2)試合時間を管理するものは、レフリーの合図により試合時間の進行を止めることができる。</p> <p>(3)負傷者の対応により著しく時間をロスした場合、レフリーは自身の判断でロスタイム分の延長を行なえる</p>
試合終了（ノーサイド）	<p>試合終了（ノーサイド）はプレーの切れ目ではなく時間によって区切られる。レフリーが試合を停止した場合、その試合はレフリーのノーサイドの合図をもって終了とする。</p>
試合の勝敗について	<p>ノーサイドの時点で得点数の多いチームを勝者とする。</p>
プール戦	<p>順位決定は勝ち点制とします。</p> <p>【勝ち：3点】【引き分け：1点】【負け：0点】尚、勝ち点と同点の場合は下記の事項で順位を決定します。</p> <p>(1) 全試合の得失点差 (2) 全試合の総得点数 (3) 当該チームの対戦成績 (4) 抽選</p>
その他	